

流水の正常な機能を維持するための必要流量について

正常流量は「維持流量」と「水利流量」の双方を満足する流量です。

【維持流量】

下記項目の機能を“維持”するため、項目別の必要流量を検討する。

- ・舟運
- ・漁業
- ・観光
- ・流水の清潔の保持
- ・塩害の防止
- ・河口閉塞の防止
- ・河川管理施設の保護
- ・地下水位の維持
- ・景観
- ・**動植物の生息地又は生育地の状況**
- ・人と河川との豊かなふれあいの確保

例えば動植物の検討では、

水深や流速がなくて棲めない

河川の流量が少ないと・・・

水深や流速が確保されて棲みやすい

河川の流量が多いと・・・

牟呂松原頭首工(直下流)地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量は、利水の現況、動植物の保護・漁業、塩害の防止などを考慮し、概ね $5\text{m}^3/\text{sec}$ としています。

6

流況が改善されると

大野頭首工地点で、流況が改善されている事例です。アユなどの遡上確認されています。



7